

# 医学用語あれこれ 6



浜口 恵子

接頭辞を続けます。今回は場所を表す接頭辞を少しまとめてみました。

ab : ~から、~から離れた

※ c、q、tの前では abs

de : ~から、~から下がった、~より減少した

ex : ~から、~から外へ

※ fの前では ef

ad : ~の方へ、~に向かって、~に近接した

※ fの前では af、gの前では ag

in : ~の中へ

※ b、p、mの前では im

lの前では il、rの前では ir

※ inは否定を表す場合もあります。

ab、de、exはいずれも“~から”という意味ですが、上記のように少しずつニュアンスが違います。この違いを覚えておくと便利です。

abがつく単語でまず最初に思い浮かぶのは ab/norm/al でしょう。ab/norm/alは規則、正常を表す norm/a という語を形容詞形 norm/alにかえ、接頭辞 ab をつけたものです。正常から離れているわけですから異常なという意味になります。

lact/o は乳汁を意味する連結形ですが、これに状態、行動を表す名詞接尾辞 -ation をつけて頭に接頭辞の ab をつけると ab/lact/ation となります。乳児を母親の胸、乳から離すこと、つまり離乳、乳離れを指します。

関節を表す連結形 arthr/o に状態を表す名詞接尾辞 -osis をつけ、ab をつけると、ab/arthr/osis 関節から離れた状態、脱臼になります。

de は上述のように~から下がった、減少したという意味で、否定的なニュアンスを含みます。

de/hydr/ation という語を見てみましょう。hydr/o は水を表す連結形です。これに名詞接尾辞の -ation をつけ、頭に接頭辞 de をつけて de/hydr/ation にすると、水が取り去られて減少した状態、脱水となります。

同様に、de/toxic/ation という語は、toxic/o が毒を表しますので、毒を減少させる行為、解毒を意味します。

次に ex ですが、まず ex/encephal/ia という語を分解してみましょう。encephal/o は脳に関係のある語に使われる連結形です。-ia は状態を表す名詞接尾辞ですから、前に ex をつけると脳が外へ脱出した状態、脳ヘルニアとなります。

tub/o は管を意味する連結形です。これに接尾辞 -ation と接頭辞 ex をつけて ex/tub/ation にすると、管を外に出す行為、抜管という意味になります。

ad は ab と反対の意味を持つ接頭辞ですが、強調の意を含むこともあります。腎臓を表す連結形 ren/o に形容詞語尾の -al をつけて形容詞形にし接頭辞 ad をつけると、ad/ren/al 腎臓に近接した、つまり副腎の、腎上体のという言葉になります。

末端を意味する termin/o を termin/al にし、頭に ad をつけると、ad/termin/al 末端へ向かうという形容詞になります。

in は ex と反対の意味を持つ接頭辞です。

in/tub/ation は管の中に入れる行為、挿管を指します。in/toxic/ation は毒が中にある状態、中毒を意味します。plant はラテン語の planto からきた植えるという動詞ですが、これに in をつけて in/plant とすると、中に植える、すなわち移植するという動詞になります。

まだまだ接頭辞が続きます。お楽しみに。